

## 【目次】

1. 荒瀬修一郎氏を招き第8回政治・社会運動史研究会を開く、4月25日！
2. 労使関係研究協会が高木剛元連合会長を招いて講演会を開催、4月20日！
3. 世界連邦関連資料、その他の資料寄贈を受けました、4月8日・18日！
4. 株友愛会館が「第3回ツツジを楽しむ会」を開催、4月26日～28日、5月2日！
5. 友愛労働歴史館に新しいメンバーが加わりました、4月18日！

### 1. 荒瀬修一郎氏を招き第8回政治・社会運動史研究会を開く、4月25日！



友愛労働歴史館は4月25日（月）午後、第8回政治・社会運動史研究会を開催しました。同研究会は、友愛労働歴史館の調査・研究活動の一環として設置したもので、「日本の民主的社会主義政党、並びにそれと関連する社会運動史の調査・研究」を目的としています。

第8回研究会は元民社党中執、元新護憲事務局長などを歴任した荒瀬修一郎氏を報告者に同日15:00～17:00の間、当歴史館研修室において共通テーマ「民社党時代を語る」で開催しました。研究会は原則、非公開ですが、友愛労働歴史館や旧民社党、旧同盟の関係者らが参加しました。

研究会では司会者から予め提出されていた質問項目に基づき荒瀬修一郎氏が1時間余に亘って報告を行い、その後に質疑・意見交換を行いました。主な質問項目は、①政治行動歴（なぜ海軍兵学校から早稲田大学へ、河上派や麻生久との関係）、②社会党青年部での活動、独立青年同盟との関係、③民社党へ参加の経緯、④民社党が社会党から分裂する時、浅沼稻次郎や片山哲への働きかけは、⑤民社党結党直後の衆議院選挙敗戦での党内の動きは、その時の東京都連との関係は、⑥片山哲の護憲論、非武装論について、などでした。

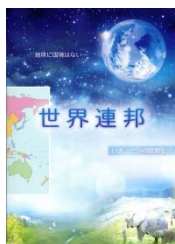
荒瀬修一郎氏は、昭和4年生まれで島根県出身。海軍兵学校から早稲田大学卒業。片山哲元総理秘書。日本社会党中執。民社党中央執行委員、国民運動副委員長、東京8区連委員長、都連顧問、新護憲事務局長、論憲会議副議長、核禁会議顧問などを歴任。片山哲、麻生良方、佐々木良作などの側近として活躍しました。民社党解党後も新進党、民主党の都連幹部として活躍されました。

### 2. 労使関係研究協会が高木剛元連合会長を招いて講演会を開催、4月20日！



友愛労働歴史館の兄弟組織である労使関係研究協会は4月20日、元連合会長の高木剛氏（全労済協会理事長）を招き、友愛会館9階中ホールにおいて、「労働運動へのチャレンジ45年」と題した講演会を開催しました。これは2月17日に開催された高木剛氏の講演会「労働運動へのチャレンジ45年」の続編で、連続公演となりました。講演会の詳細は今後、労使研HPや会報「労使研」に掲載されますので、そちらでご確認ください。

### 3. 世界連邦資料、その他の資料寄贈を受けました、4月8日・18日！



友愛労働歴史館は4月8日、世界連邦運動協会より世界連邦関連資料の寄贈を受けました。これは元世界連邦国会委員会の中野寛成氏（元民社党書記長、元衆議院副議長、世界連邦日本国会委員会第14代会長）の斡旋によるものでした。

世界連邦運動には友愛会系労働組合のメンバーやゆかりの人々が支持・協力を行っており、古くは賀川豊彦（キリスト教伝道者、世界連邦建設同盟副会長）、片山哲（弁護士・政治家、社会民衆党初代書記長、日本社会党初代委員長、片山連立内閣首班）、松岡駒吉（総同盟第二代会長、衆議院議長、世界連邦日本国会委員会初代会長）、赤松常子（婦人解放運動家、参議院議員、世界連邦建設同盟副会長）らがいます。なお、寄贈を受けた4月8日は、奇しくも松岡駒吉（1888. 4. 8～1958. 8. 14）の生誕記念日でした。また、4月18日には故遠藤欣之助氏（社会思想研究会、民主社会主義研究会などに参加。『評伝河合栄治郎』『改革者西尾末広』など著書多数）。

### 4. ㈱友愛会館が第3回「ツツジをたのしむ会」を開催、4月26日～28日、5月2日！



友愛労働歴史館が入居する友愛会館（地上16階、地下2階。元ユニテリアン教会・惟一館）の屋上には一面にツツジが植えられており、毎年4月末から5月初旬にかけて一面に咲き乱れます。

その「ツツジを楽しむ会」が毎年、㈱友愛会館の主催で開かれており、今年は4月26日（火）～28日（木）の三日間、12:30～13:30の1時間で行われます。友愛会館に入居するテナントの皆さんや関係業者の方たちが大勢、ツツジを鑑賞しています。友愛労働歴史館も26日に屋上を訪れ、ツツジを楽しみました（写真はツツジと東京タワー、増上寺）。今年はまた、新しい試みとして5月2日（月）10:30から芝小学校的の3年生を招いて、また14:00からは芝町内会の皆さんを招いて、「ツツジを楽しむ会」が開催されます。

### 5. 友愛労働歴史館に新しいメンバーが加わりました、4月18日！

友愛労働歴史館は現在、徳田孝蔵館長・間宮悠紀雄事務局長の体制で、①展示会（常設展、企画展）活動、②資料の収集・管理、調査・研究活動、③情報発信・PR活動などに取り組んでいます。

このような友愛労働歴史館に新しいメンバーが、4月18日（月）から加わりました。元全金同盟（現JAM）本部勤務の経験がある安部千恵さんです。今後、当館は三人体制で運営をし、展示会活動の充実、メールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、友愛労働歴史館HPの随時更新、調査・研究活動の充実、所蔵資料の適切な管理・保管などに取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール [yuairedorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairedorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

惟一館から122年、友愛会から104年